

後期始業式 校長講話

H25.10.15

11日に行われた栄中祭、お疲れ様でした。本当に素晴らしい歌声を聞かせてもらい、「とても感動」しました。一人一人が自分の役割をきちんと果たして一生懸命に「栄中祭」を創りあげたこと 本当に価値のあることだと思います。

学年が上がるにつれすばらしくなる学級合唱、102人の迫力ある全員合唱は聴く人に温かなものを残してくれました。鈴木奈緒さんは英語スピーチを多くの人の前でも堂々とがんばりました。

また、「輝け 届け 僕らのおもい（心）」の迫力のあるすばらしい看板をつくれた総合文化部のみなさん、放課後一生懸命に作成してくれて本当にありがとうございました。実行委員のみなさんも本当にすばらしい活躍でした。

こうして、102人みんなの努力と前向きな取り組みが栄中祭を成功につなげてくれました。本当に良い栄中祭でした。

さて、今日から平成25年度後期101日間の授業が始まります。そして、第4ステージに入りますが、これまでの前期のみなさんの頑張りを生かして、さらに「学び合い やり抜く 栄中生」の目標に向かって何が必要かと考えました。

第4ステージの目標にもありますが、ここから力を入れていくべきことは「学習」ではないかと思います。学校教育目標と照らし合わせてみると「学び合う」ためには、みなさんが授業の中で自分の意見を述べ、意見をお互いに交換し合うことが必要ではないかと思います。自分の意見を述べたり、表現するのが得意な人もいれば、苦手な人もいるでしょう。今の自分から比べてどのくらい進歩できるか、学級のムードの高まりが大切です。ぜひ、チャレンジしてみて下さい。

次に学習で「やり抜く」ためには、難しい授業内容でも諦めないで授業に参加することや家庭での宿題などを忘れずにやりきることが必要かと思います。これも中には苦手な人もいるでしょう。もちろん自分自身で苦手さや困難さに立ち向かっていくことが必要です。しかし、みんなの回りにはみんなを支えてくれる仲間や先生方がいます。困ったときには困ったと言える勇気も必要ではないかと思います。ぜひ、チャレンジしてみて下さい。

1年生は中学校生活にも慣れ、生徒会活動や部活動など、2年生を補佐しながら、栄中をもっともっと盛り上げていく立場になります。

2年生は、後輩である1年生の模範となるような行動がとれるように、また、来年度の最終学年を見据えて、今の3年生に負けない、栄中のリーダーとしての力を高めていって欲しいと思います。

3年生は、いよいよ中学校生活の最終段階に入っていきます。自分の進路を自分の責任で決めるることは大変苦しいことです。人生で初めての大きな決断になりますが、自信を持って決定し、その希望が叶うように全力で頑張ってください。また、最上級生として、1、2年生の最高のお手本となって欲しいと思います。そして、すばらしい卒業式を迎えましょう。

それぞれの学年のみなさんが、一日一日を大切に過ごし、「学び合い やり抜く 栄中生」という目標の達成に向けて精一杯努力し、3月には有終の美を飾ることができるように頑張りましょう。期待しています。

以上でお話を終わります。